

I . O G L フォーマッターの概要

1 . O G L フォーマッターの概要

(1) 機能の概要

『OGLフォーマッター』は、IBM・AFPプリンターで印刷する帳票に必要となる、電子オーバーレイやフォーム定義、ページ定義の作成作業を支援するプログラムパッケージです。

Windows上で稼働し、以下の機能を提供します。

a. 電子オーバーレイの作成

画面上の編集域に罫線、文字、枠などの帳票イメージを描くことにより、ホスト側のOGLコンパイラーの入力ソース・ファイルを生成します。

b. フォーム定義、ページ定義の作成

画面上の編集域の帳票イメージに合わせてデータの出力フィールドを登録し、オーバーレイの配置方法などを指定することにより、ホスト側の弊社提供プログラムでフォーム定義およびページ定義を生成します。

c. ファイル転送

生成された各入力ソース・ファイルを、ホスト(MVS, OS/390, z/OS)の該当ソース・ライブラリーに転送する機能を提供します。

d. データ定義文の生成

帳票ソース上で設定した出力フィールドから、PL/I, COBOL, FORTRANそれぞれのデータ定義文を生成します。

(2) サポートするプリンター

OGLフォーマッターは、次のプリンターをサポートします。

- <1> IBM3800-8型印刷サブシステム
- <2> IBM3820ページ印刷装置
- <3> IBM3825 "
- <4> IBM3827 "
- <5> IBM3831 "
- <6> IBM3835 "
- <7> IBM3900 "
- <8> IBM3900-W1 "

(3) ご使用環境の概要

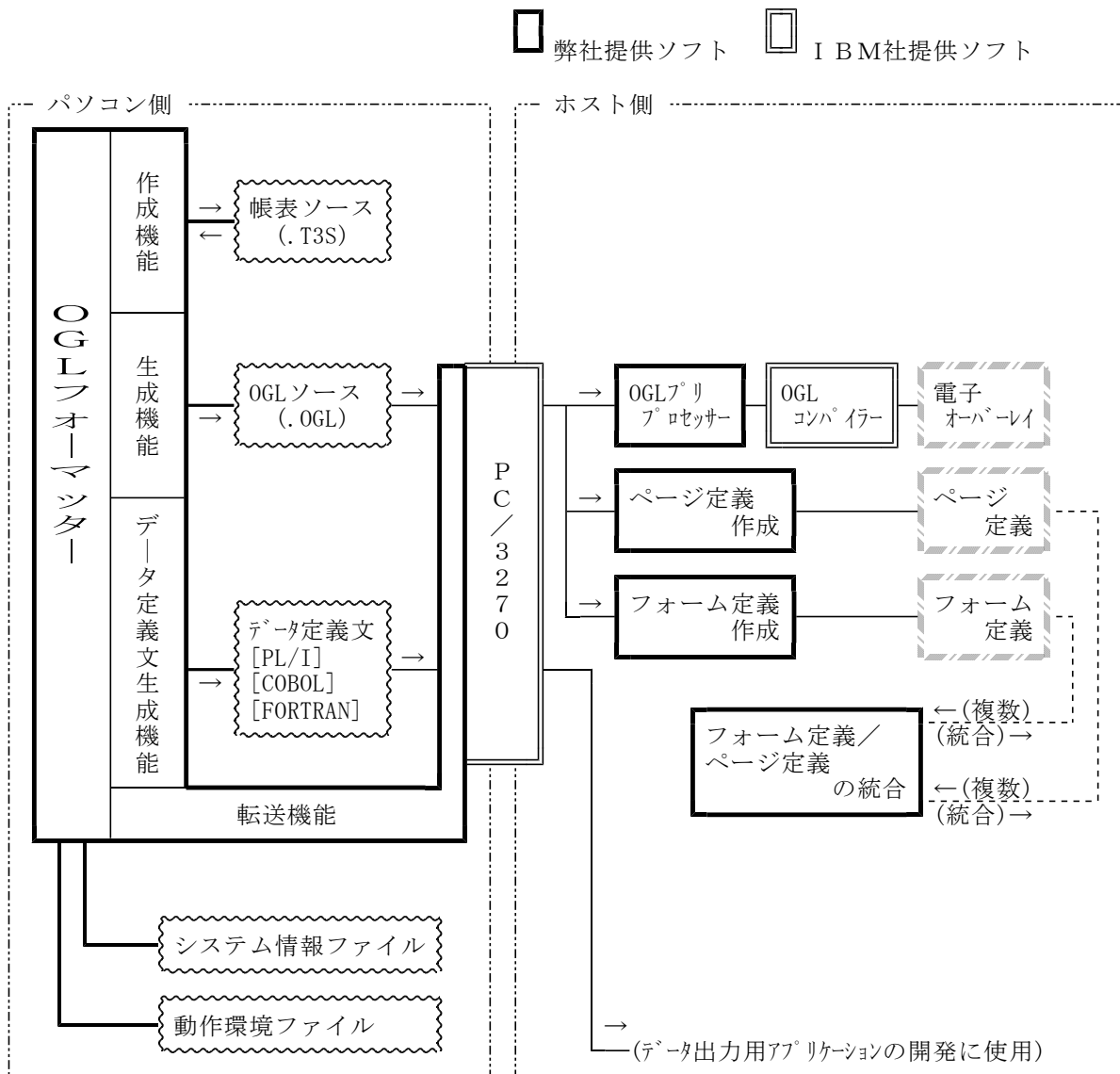
本パッケージは、パソコン側プログラムとホスト側プログラムから構成されています。

パソコン側プログラムは、Windows環境下でご使用いただけます。

ホスト側プログラムは、MVS, OS/390, z/OS環境下でご使用いただけます。

2. 帳票作成手順の概要

- <1> パソコン上で、各種編集機能を用いて帳票を作成します。
 作成された帳票の全ての情報は「帳表ソース」として書き出されます。
 【注】帳票の修正は、帳表ソースを読み込んでからおこないます。
 用紙やフォントなどの基本となる情報は、システム情報ファイルに収録されています。
- <2> 帳表ソースからOGLソースを生成します。
- <3> 生成したソースをホストに転送します。
 【注】本パッケージに含まれる転送プログラムを使用される場合、転送を行うWindowsOS上で動作保障されたIBM『パーソナル・コミュニケーションズ/3270』(PC/3270)が導入済みの場合、ご使用の前提となります。
- <4> ホスト側でOGLプリプロセッサ、OGLコンパイラおよび弊社提供ホストプログラムにより、電子オーバーレイ、ページ定義、フォーム定義を生成します。
 【注】電子オーバーレイを作成するために、弊社提供のOGLプリプロセッサを使用する必要があります。



3. ご使用上の注意点

(1) 機能上の注意点

a. OGL

- 〈1〉 IBM3800-8型プリンターでは、用紙や文字の回転は行えません。
- 〈2〉 生成されるOGLソースコードは、OGL/リリース1に準拠しています。
《参考》OGL/リリース2ならびにOGL/370は、OGL/リリース1のソースコードを処理することができ、上位互換性が保証されています。

b. フォーム定義

- 〈1〉 サブグループでの複数オーバーレイの指定は、ホスト側プログラム「フォーム定義作成」でおこなってください。
- 〈2〉 印刷抑止フィールドは、ホスト側プログラム「フォーム定義作成」で指定してください。
- 〈3〉 フォーム定義内で複数のコピーグループを指定する場合は、ホスト側プログラム「フォーム定義作成」または「フォーム定義(・ページ定義)の統合」でおこなってください。

c. ページ定義

- 〈1〉 ページ様式定義内で、セグメントIDの指定はできません。
- 〈2〉 レコード出力様式定義内で、コンスタント文字の指定はできません。
- 〈3〉 データ出力フィールドの回転はできません。
- 〈4〉 ページ定義内で複数のページ様式を指定する場合は、ホスト側プログラム「(フォーム定義・)ページ定義の統合」でおこなってください。

d. フォント

- 〈1〉 システム情報ファイルには、IBMの代表的なフォントが登録されています。
- 〈2〉 ご使用環境に合わせて、システム情報ファイルのフォント情報を変更して下さい。
- 〈3〉 その他のフォントをご使用の場合は、システム情報ファイルに追加登録して下さい。

e. プリンター

- 〈1〉 サポートする全てのプリンターがシステム情報ファイルに登録されています。
ご使用環境に合わせて、システム情報ファイルのプリンター情報を削除するなどカスタマイズして下さい。
- 〈2〉 印刷時に必要となるプリンターのストレージサイズのチェックは行なわれません。
組み合わせて使用するフォントの種類等を標準化するなど、ご確認の上ご使用下さい。

f. 用紙

- 〈1〉 各プリンターで使用可能な物理用紙が登録されています。
必要に応じてシステム情報ファイルの物理用紙情報を変更し、カスタマイズして下さい。
- 〈2〉 よく使われる論理用紙が登録されています。
必要に応じてシステム情報ファイルの論理用紙情報を変更し、カスタマイズして下さい。

(2) パソコン側の注意点

OGLフォーマッターは、Windowsで稼働しますので、次の点にご注意ください。

a. ハードウェア

- <1> Microsoft Windows10 / Windows11 が動作するPCが必要です。
- <2> レスポンスを良好な状態に保つために、十分なメモリーを実装されることをお勧めします。
- <3> ハードディスクには、64MB以上の空き容量が必要です。

b. ソフトウェア

- <1> Windows

Microsoft Windows10 / Windows11 上で稼働します。

- <2> 3270 端末エミュレータ

本パッケージで生成した各種ソースをホストに転送するためには、ファイル転送機能を有する3270 端末エミュレータが必要です。

尚、本パッケージの転送プログラムでMVS/TSOとのファイル転送を行う場合は、IBM『パーソナル・コミュニケーションズ/3270』(PC/3270)の最新バージョンをご利用ください。

《注意》上記<1>、<2>のソフトウェアのうち、上記のバージョンを超えるものについては、必ず本パッケージの稼働確認を弊社『漢字帳表作成システム・サポート係』宛にお問い合わせください。

c. 本パッケージの取扱い

本パッケージは、弊社とお客様の間で締結する「ソフトウェア使用契約書」の内容に基づいて使用することができます。上記契約に適合する範囲であれば、1つのパッケージで複数台のパソコンに導入することができます。

(3) ホスト側の注意点

a. OGL

オーバーレイ生成言語 (OGL)が必要です。

b. ファイル転送機能

生成した各種ソースの転送や、ホストプログラムの導入のため、パソコン側の3270 端末エミュレータに対応するホスト側のファイル転送機能(ファイル転送支援プログラム)が必要です。

4. パッケージの構成物

OG Lフォーマッターは、次の製品から構成されています。

(1) プログラム

<1> 『OG Lフォーマッター』PCプログラム

<2> 『OG Lフォーマッター』ホストプログラム

詳細は「付録-1 プログラム一覧表」を参照してください。

(2) マニュアル

<1> 導入マニュアル

<2> 利用ガイド

<3> 操作マニュアル(パソコン編)

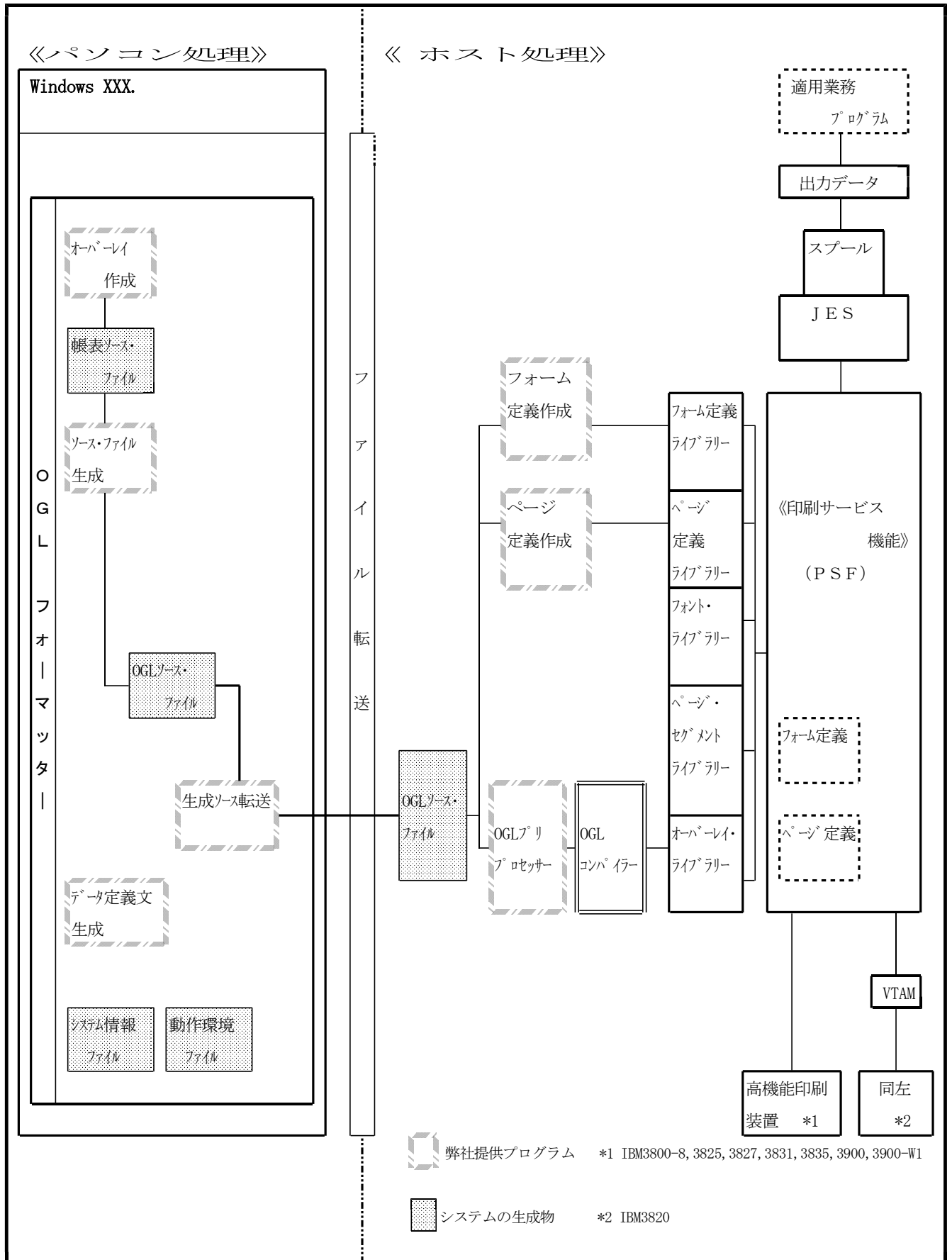
<4> 操作マニュアル(ホスト編)

(3) その他

<1> 導入手順書

<2> 問い合わせシート

5. 全体構成図



OG Lフォーマッターで生成・使用するファイルの概要

ファイル名	エクステンション	概要
帳表ソース	. T 3 S	1. 作成した帳票の全ての情報が収録されます。 2. 修正には帳表ソースが必要です。 3. 8桁以内のファイル名を指定します。
OG Lソース	. O G L . O X L . O Y L	1. 生成したOG Lソースが収録されます。 2. 帳表ソースを基に生成されます。 3. 斜線、円、ボックスはコメント文で記述されホストのOG Lプリプロセッサで変換されます。 4. 指定された帳表ソース名が設定されます。 〈参考〉 . O G L → オーバーレイのみ . O X L → オーバーレイと背景 . O Y L → 背景のみ 5. ページ定義を生成するための情報は、コメント文で記述されます。
データ定義文ファイル	. D F P . D F C . D F F	1. OGLフォーマッターで作成された帳表ソースから生成されるPL/I, COBOL, FORTRANのデータ定義文が収録されます。 2. 帳表ソース名と同じファイル名が設定されます。
転送ファイル	. T R N	1. OGLフォーマッターの転送プログラムで、ファイル転送を行うPCファイルおよびホストファイルの情報が保管(収録)されます。 2. 8桁以内のファイル名を指定します。
システム情報ファイル	T3.SYS	用紙情報、フォント情報などを収録します。
動作環境ファイル	T3.ENV	使用するディレクトリーなどを指定します。
ヘルプファイル	OG L2WIN . CHM	ヘルプが収録されています。
生成プログラム初期化ファイル	T3STOOG L . INI	生成プログラムの各種初期情報が収録・保存されています。
転送プログラム初期化ファイル	T3MTRN . INI	転送プログラムの各種初期情報が収録・保存されています。
定義文作成プログラム初期化ファイル	T3PARA . ENV	定義文作成プログラムの各種初期情報が収録・保存されています。

6. 導入作業の概要

本パッケージには、パソコン側プログラムとホスト側プログラムが含まれています。

- ・パソコン側プログラムは、各パソコン毎に1式導入する必要があります。
- ・ホスト側プログラムは、ご使用になるホスト計算機毎に1式導入する必要があります。

(1) パソコン側プログラムの導入とカスタマイズ

a. 導入

弊社が提供する導入プログラムを用いて、パソコンのハードディスクに導入します。

b. カスタマイズ

〈1〉用紙やフォントなどの基本的な情報や、使用するディレクトリなどの動作環境情報が「システム情報ファイル」および「動作環境ファイル」に収録されていますので、これらの指定を必要に応じてカスタマイズします。

システム情報ファイルのカスタマイズは「Ⅱ. 6 システム情報ファイルのカスタマイズ」をご参照ください。

《注意》

- ① 製品と共に提供されるシステム情報ファイルは、標準的なMVSのご使用環境の場合に、そのままOGLフォーマッターをご使用いただけるように設定されています。特殊な用紙やフォントを使用されている場合や、貴社独自の標準化を反映する必要がある場合などにカスタマイズをおこなってください。
- ② システム情報ファイルには、OGLフォーマッターの基本情報が収録されています。誤って変更した場合などには重大な影響が発生する可能性がありますので、印刷装置関係のシステム管理者の方が管理されることをお勧めします。

(2) ホスト側プログラムの導入とカスタマイズ

a. 導入

CD-ROMに収録されているモジュールをホストに転送して、プログラムライブラリーに登録します。

b. カスタマイズ

サンプルのJCLなどをご使用環境に合わせて修正し、JCLライブラリーなどに収録します。